

◆ ICT活用

《 常時 連携機関とのICT活用、リカレント教育及び看護研究相談・支援におけるICT活用を実施 》

【実績】

- ・小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムにおいてICTを活用した講義・演習を行った。21 単元中 15 単元(66 時間)をICT活用が可能な講義・演習として開講した。本事業の ICT は授業に画面を通して参加できる双方向性システムを用いている点に特徴がある。
- ・看護研究相談においてもICTを活用できることを看護研究相談の手引きに掲載し、周知を図った。

【成果】

- ・小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムでは、ICT利用可能な単元すべてでICT利用の希望があった。また、ICTを利用した履修者は 54 名中 45 名(83.3%)で、延べ 129 名が利用した。このことから、受講者が遠隔地であっても同プログラムに参加することができるICT活用のニーズが高いことが明らかとなり、今後の事業の展開の参考となった。
- ・看護研究相談においてもICTを活用できることを看護研究相談の手引きに掲載し、周知を図ったが、今年度の利用希望はなかった。引き続き、看護ブラッシュアッププログラムの活用事例等を示しながら、ICT 活用の利点を周知していく。

【実施上のポイント】

- ・パソコン操作に不安がある方に対して、事前に自分で操作の確認ができるようにするために、操作方法やトラブルの対処方法について事前に説明するとともに、リーフレットを作成し配布する。
- ・操作に対する疑問や、事前の接続確認等の希望に対して電話やメールで個別に対応する。
- ・講義・演習中のスライドが見にくいなどの画面調整について、即時対応すると共に、事前にハンドアウトを印刷し配布しておくことで受講生がスムーズに講義を受けられるようにする。
- ・講義内の演習について、ICT による受講の場合でも演習に参加できるように、必要物品について準備してもらうように事前に説明している。